

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成26年1月23日 (2014.1.23)

【公表番号】特表2013-520426(P2013-520426A)

【公表日】平成25年6月6日 (2013.6.6)

【年通号数】公開・登録公報2013-028

【出願番号】特願2012-553974(P2012-553974)

【国際特許分類】

C 0 7 K 14/78 (2006.01)

C 0 7 K 19/00 (2006.01)

A 6 1 P 17/02 (2006.01)

A 6 1 P 7/06 (2006.01)

A 6 1 P 3/10 (2006.01)

A 6 1 P 21/04 (2006.01)

A 6 1 P 27/02 (2006.01)

A 6 1 P 25/00 (2006.01)

A 6 1 P 37/06 (2006.01)

A 6 1 P 7/04 (2006.01)

A 6 1 P 1/16 (2006.01)

A 6 1 P 1/04 (2006.01)

A 6 1 P 19/02 (2006.01)

A 6 1 K 38/16 (2006.01)

A 6 1 K 47/34 (2006.01)

A 6 1 K 47/26 (2006.01)

A 6 1 K 47/42 (2006.01)

A 6 1 K 47/48 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 K 14/78 Z N A

C 0 7 K 19/00

A 6 1 P 17/02

A 6 1 P 7/06

A 6 1 P 3/10

A 6 1 P 21/04

A 6 1 P 27/02

A 6 1 P 25/00

A 6 1 P 37/06

A 6 1 P 7/04

A 6 1 P 1/16

A 6 1 P 1/04

A 6 1 P 19/02

A 6 1 K 37/04

A 6 1 K 47/34

A 6 1 K 47/26

A 6 1 K 47/42

A 6 1 K 47/48

【手続補正書】

【提出日】平成25年11月28日 (2013.11.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

フィブロネクチンⅠⅠⅠ型第10 ( $^{10}Fn3$ ) ドメインを含むポリペプチドであって、ここに該  $^{10}Fn3$  ドメインは、ヒト  $^{10}Fn3$  ドメインの対応するループの配列と比較してアミノ酸配列が変化したループBC、DEおよびFGから選択される少なくとも1つのループを有し、該ポリペプチドは500 nM未満のKdでIL-23のp19サブユニットに結合する、ポリペプチド。

【請求項 2】

フィブロネクチンⅠⅠⅠ型第10 ( $^{10}Fn3$ ) ドメインを含むポリペプチドであって、ここに該  $^{10}Fn3$  ドメインは、ヒト  $^{10}Fn3$  ドメインの対応するループの配列と比較してアミノ酸配列が変化したループBC、DEおよびFGから選択される少なくとも1つのループを有し、該ポリペプチドはIL-23のp19サブユニットの構造的エピトープに結合する、ポリペプチド。

【請求項 3】

BCループが配列番号2～6から選択される、請求項1または2に記載のポリペプチド。

【請求項 4】

DEループが配列番号7～48から選択される、請求項1または2に記載のポリペプチド。

【請求項 5】

FGループが配列番号49～59から選択される、請求項1または2に記載のポリペプチド。

【請求項 6】

BC、DEまたはFGループのアミノ酸配列が、配列番号2～59のいずれか一つと少なくとも80%同一である、請求項1または2に記載のポリペプチド。

【請求項 7】

ポリペプチドのアミノ酸配列が、配列番号60～100のいずれか一つと少なくとも90%同一である、請求項1または2に記載のポリペプチド。

【請求項 8】

ポリペプチドのアミノ酸配列が、配列番号60～100のアミノ酸3～96と少なくとも90%同一である、請求項1または2に記載のポリペプチド。

【請求項 9】

BCループの配列モチーフが、 $X_1$  がメチオニンまたはロイシンのいずれかであり、 $X_2$  がイソロイシンまたはバリンのいずれかである、配列番号257で示されるGHYPX<sub>1</sub>HX<sub>2</sub>である、請求項1または2に記載のポリペプチド。

【請求項 10】

FGループの配列モチーフが、 $X_3$  が任意のアミノ酸であり得る、配列番号258で示されるYYX<sub>3</sub>X<sub>3</sub>X<sub>3</sub>X<sub>3</sub>YX<sub>3</sub>X<sub>3</sub>Iである、請求項1または2に記載のポリペプチド。

【請求項 11】

ポリエチレングリコール、シアル酸、Fc、Fc断片、トランスフェリン、血清アルブミン、血清アルブミン結合タンパク質および血清免疫グロブリン結合タンパク質からなる群から選択される一以上の薬物動態(PK)部分をさらに含む、請求項1または2に記載のポリペプチド。

【請求項 12】

PK部分がポリエチレングリコールである、請求項11に記載のポリペプチド。

## 【請求項 13】

システインリンカーをさらに含む、請求項 1 または 2 に記載のポリペプチド。

## 【請求項 14】

システインリンカーが、配列番号 101 に示されるアミノ酸 G S G C および配列番号 102 に示されるアミノ酸 E I D K P C Q からなる群から選択される、請求項 13 に記載のポリペプチド。

## 【請求項 15】

組成物が本質的にエンドトキシンを含まない、請求項 1 ~ 14 のいずれか一項に記載のポリペプチドを含む医薬上許容される組成物。

## 【請求項 16】

内因性 I L - 23 の T h 17 細胞との反応を干渉するために効果的な量で、I L - 23 と請求項 1 ~ 14 のいずれか一項に記載のポリペプチドを接触させることを含む、T h 17 細胞の病原性を インビトロ で調節する方法。